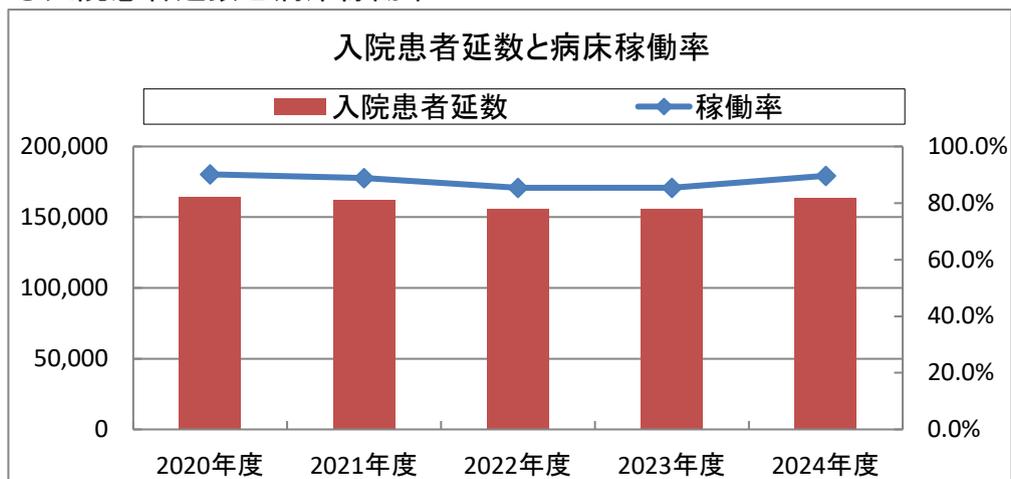


患者さん、ご家族向け

全体

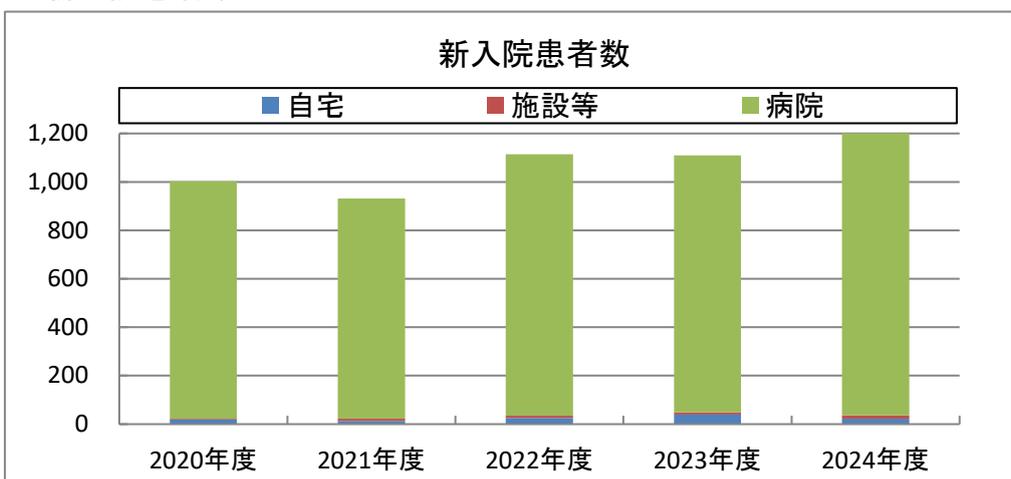
○入院患者延数と病床稼働率



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
入院患者延数	164,525	162,121	155,854	156,211	163,446
稼働率	90.2%	88.8%	85.4%	85.4%	89.6%

当院は全床500床で、回復期リハビリテーション病棟168床、障害者病棟78床、療養病棟254床のリハビリテーション、長期療養の病院です。毎年多くの患者さんにご利用いただいております。

○新入院患者数

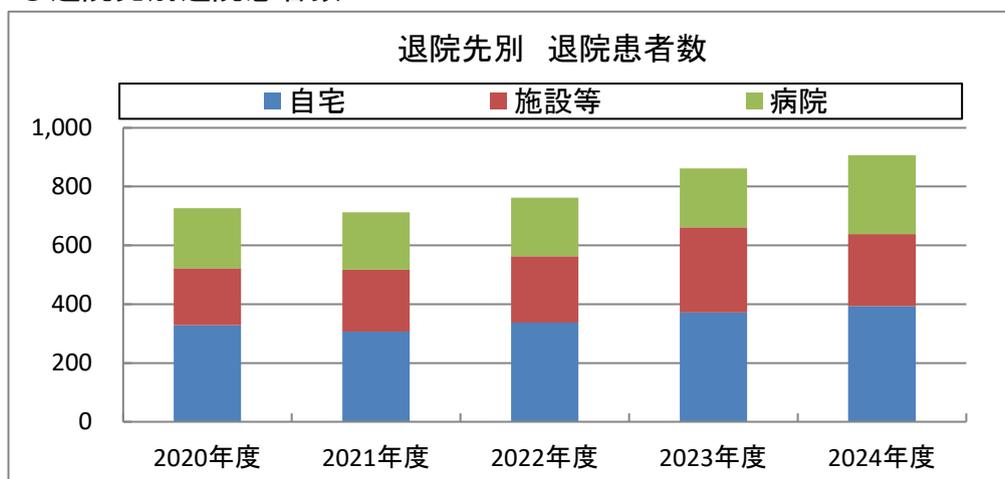


	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
自宅	19	13	26	40	23
施設等	4	9	9	9	13
病院	980	909	1,079	1,060	1,212

急性期病院での緊急を要する治療が終わった患者さんを積極的に受け入れています。在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方や、継続的な医療処置が必要な方にご利用いただいております。

患者さん、ご家族向け

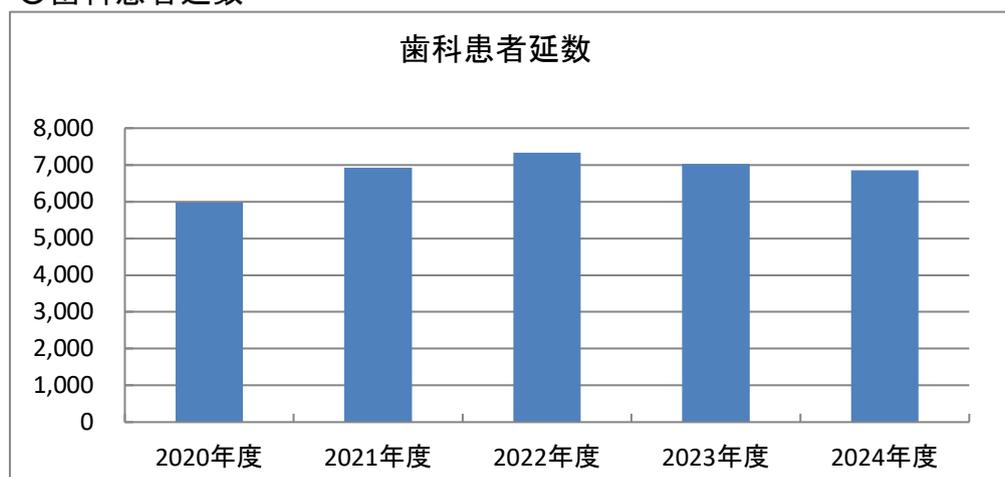
○退院先別退院患者数



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
自宅	328	307	337	372	393
施設等	195	210	226	289	245
病院	204	195	199	201	268

必要な医療や介護サービス、福祉制度の情報提供を行い、関係機関と連携・調整を行っています。

○歯科患者延数



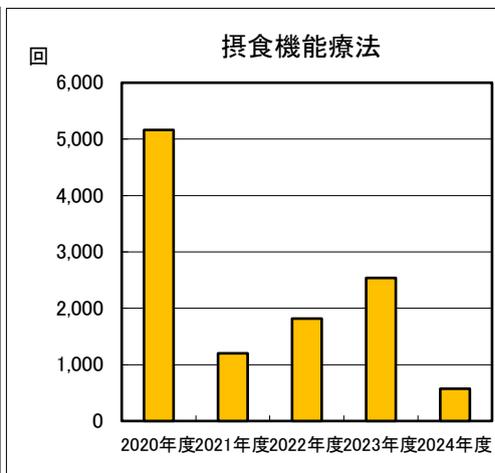
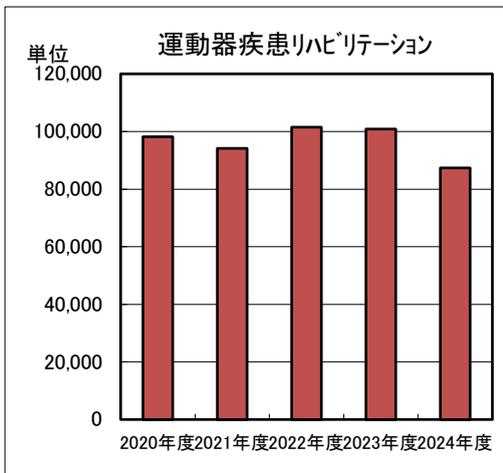
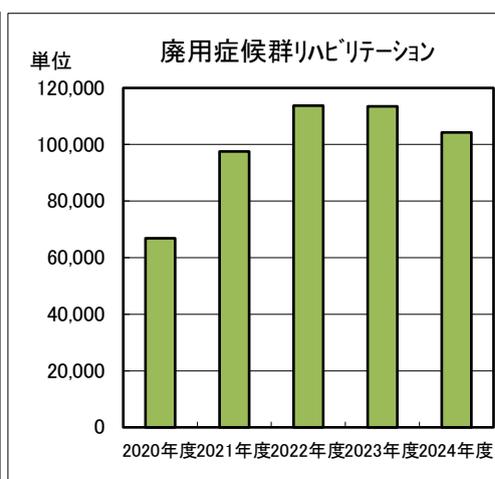
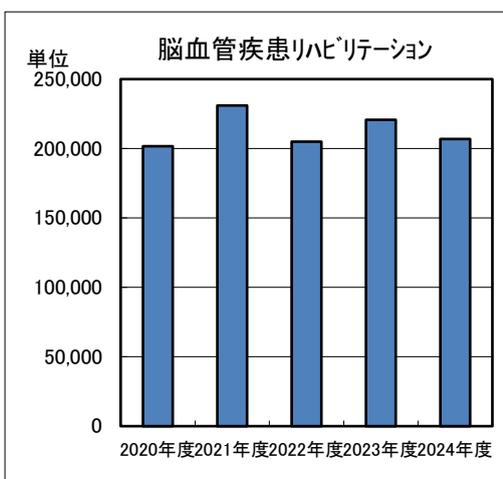
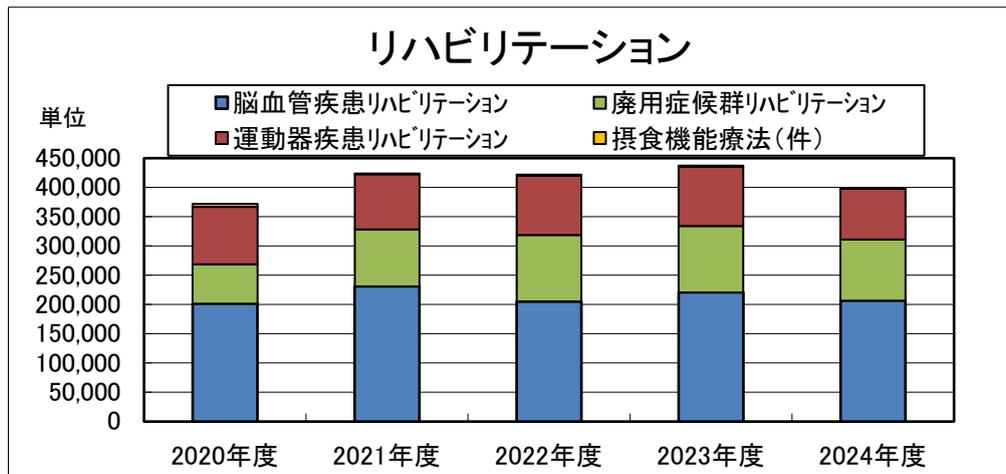
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
歯科患者延数	5,973	6,930	7,329	7,029	6,856

歯科外来の約80%が入院中の患者さんです。早期改善には口腔ケアが大切で、歯科の専門スタッフが患者さんの歯の治療やお口のケアを担当します。

患者さん、ご家族向け

リハビリテーション

○リハビリテーション実施単位数



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管疾患リハビリテーション	201,680	231,024	204,968	220,699	206,878
廃用症候群リハビリテーション	66,857	97,550	113,751	113,500	104,278
運動器疾患リハビリテーション	98,176	94,138	101,491	100,843	87,343
摂食機能療法(件)	5,162	1,201	1,817	2,538	573

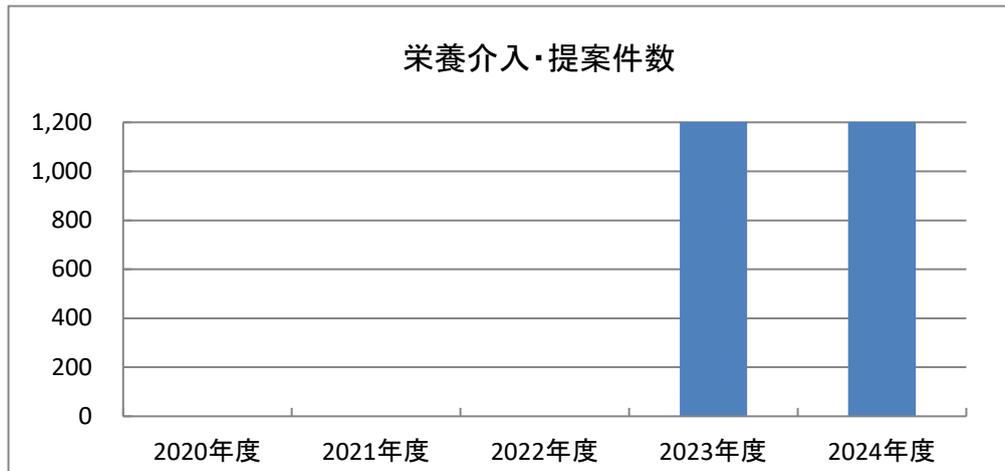
※リハビリテーション1単位=20分間、摂食機能療法1回=30分間

脳や脊髄の疾患、骨折や関節の疾患、肺炎など病気後の廃用症候群（寝たきりや安静になることによって、全身に現れるさまざまな衰え）、嚥下障害などへのリハビリテーションを行っています。

患者さん、ご家族向け

栄養部門

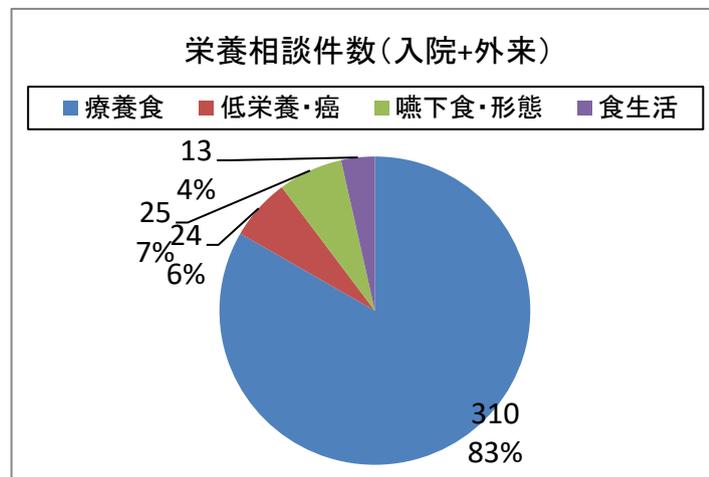
○栄養介入・提案件数



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
栄養介入・提案件数				3369	3907

当院は管理栄養士を病棟担当制としています。情報共有や業務の効率化などが利点です。なかでも患者さんや家族さんに対して、担当の管理栄養士が入院から退院まで介入するので、個々に配慮したきめ細やかな栄養介入が行えます。栄養士も積極的に病棟にいき患者さんの栄養プランの提案を行っています。

○栄養相談件数（入院+外来）

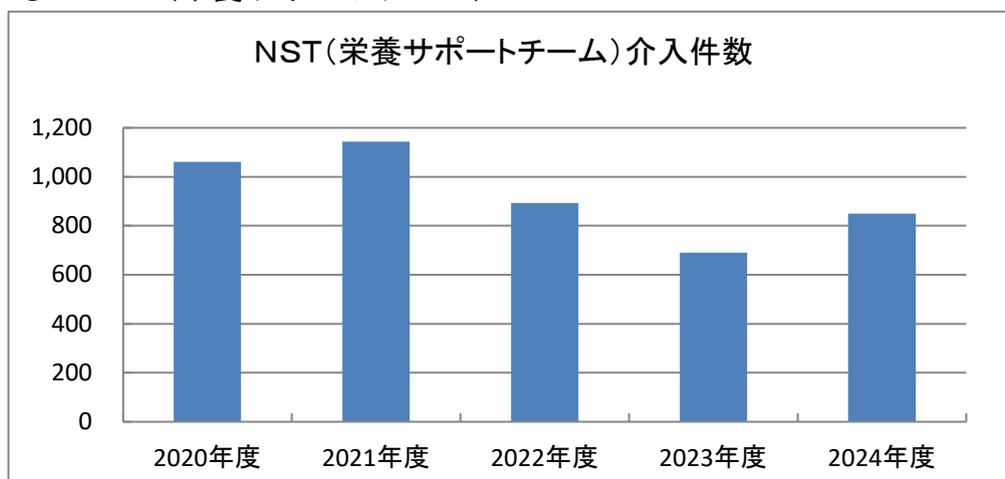


	2024年度
療養食	310
低栄養・癌	24
嚥下食・形態	25
食生活	13
合計	372

当院では管理栄養士が病棟担当制で配置されており、積極的に栄養指導を行っています。リハビリを終えて在宅へ帰る方には、療養食も考慮した嚥下食の作り方や身近で購入できる嚥下食のレトルト食品の紹介も行っていきます。また、栄養状態が低い方へは栄養補助食品の紹介や使用方法等の指導も行っていきます。

患者さん、ご家族向け

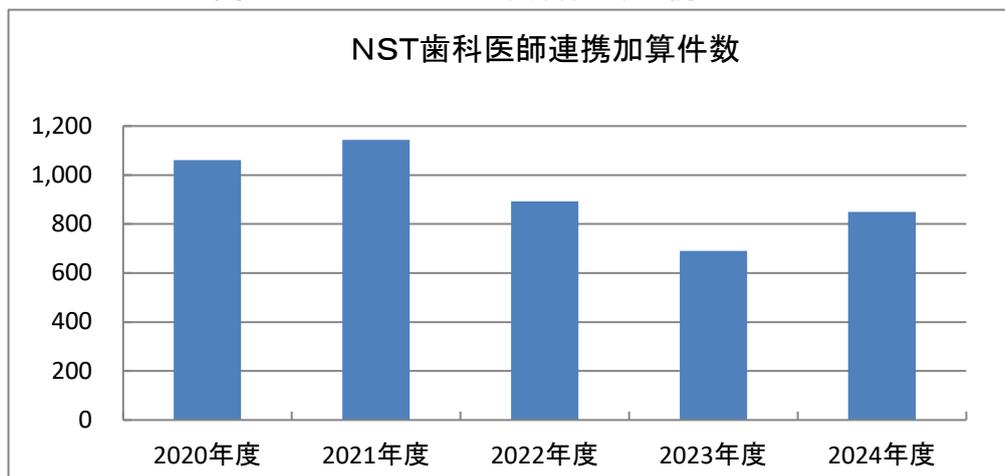
ONST（栄養サポートチーム）



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
NST加算	1061	1144	893	690	850

栄養サポートチームとは、栄養管理が必要な患者さんに対して専門知識を有する多職種が連携し、それぞれの知識や技術を生かし、最善の方法で栄養支援を行う専門チームです。適切な栄養管理の選択・提供を行う事で、必要量が摂取でき、全身状態の改善、生活の質の向上に繋がります。

ONST（栄養サポートチーム）歯科医師連携



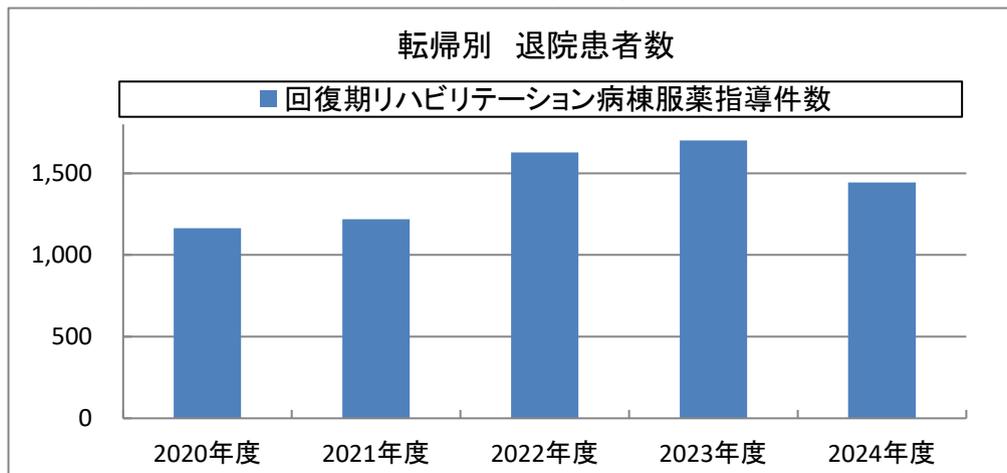
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
NST歯科医師連携加算	1061	1144	893	690	850

歯科医師も参画し、患者さんの口腔や摂食嚥下の問題に関し、評価を行っております。歯科にて口腔ケアや歯科治療を行い、口腔環境を整え「口から食べる」ことを支援しています。患者さんの栄養状態の改善を目指し、多職種にてチームアプローチを行っております。

患者さん、ご家族向け

薬剤部門

○回復期リハビリテーション病棟服薬指導件数



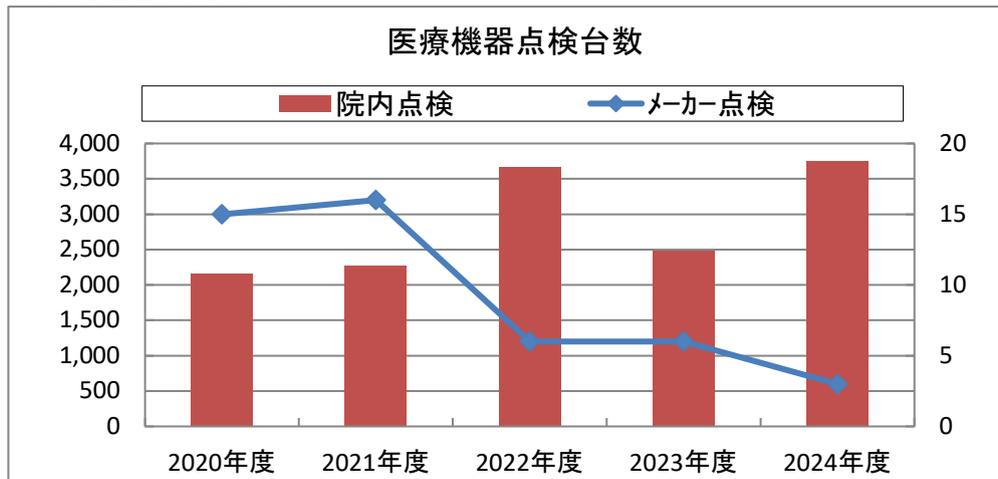
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
回復期リハビリテーション病棟服薬指導件数	1,164	1,220	1,627	1,701	1,444

患者さんの退院後の生活を見据えた薬物療法を提案し、安全に薬を服薬できるよう支援させていただいています。

患者さん、ご家族向け

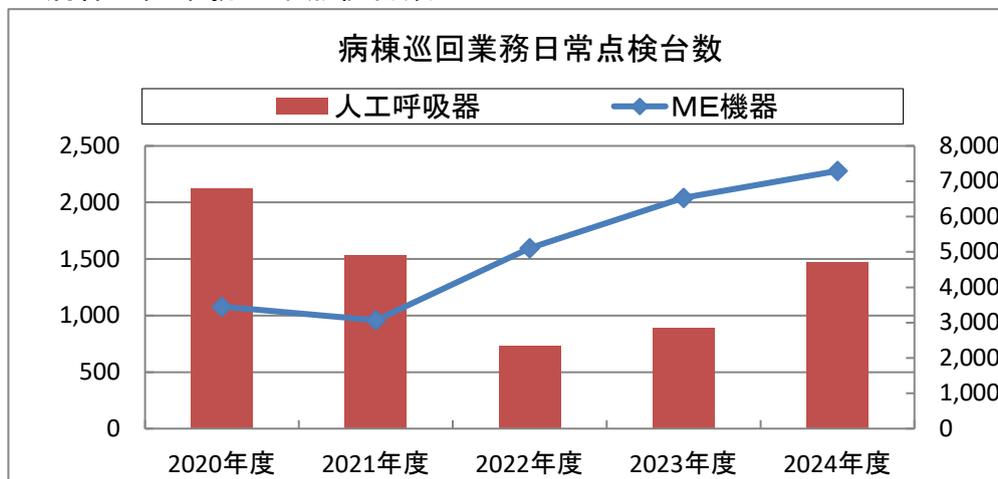
ME（臨床工学）部門

○医療機器点検台数



医療機器点検台数	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
院内点検	2,156	2,274	3,672	2,490	3,758
メーカー点検	15	16	6	6	3

○病棟巡回業務日常点検台数



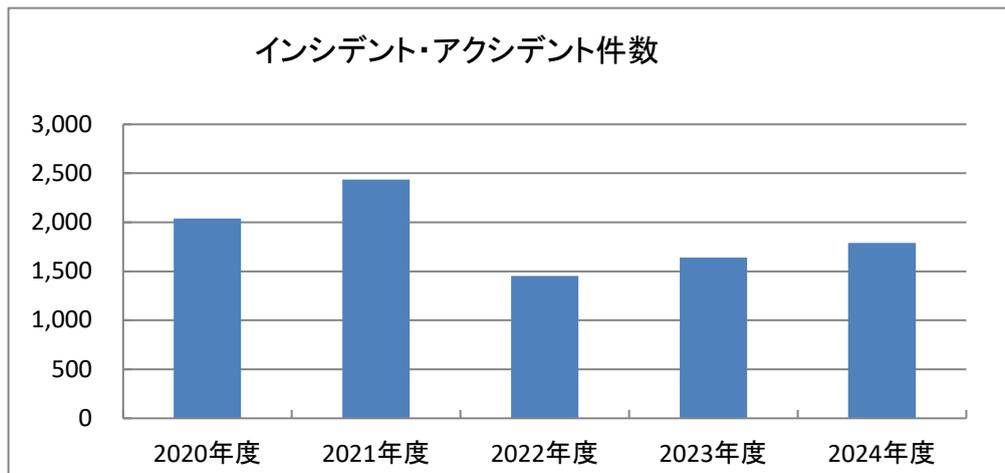
病棟巡回業務	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
人工呼吸器	2,125	1,532	735	894	1,472
ME機器	3,452	3,066	5,104	6,528	7,293

ME係は院内の医療機器を管理しています。
患者さんに安全な医療サービスが提供できるよう医療機器の点検を
したり、病棟を巡回して医療機器が正しく作動しているかの日常点
検も行っています。

患者さん、ご家族向け

医療安全部門

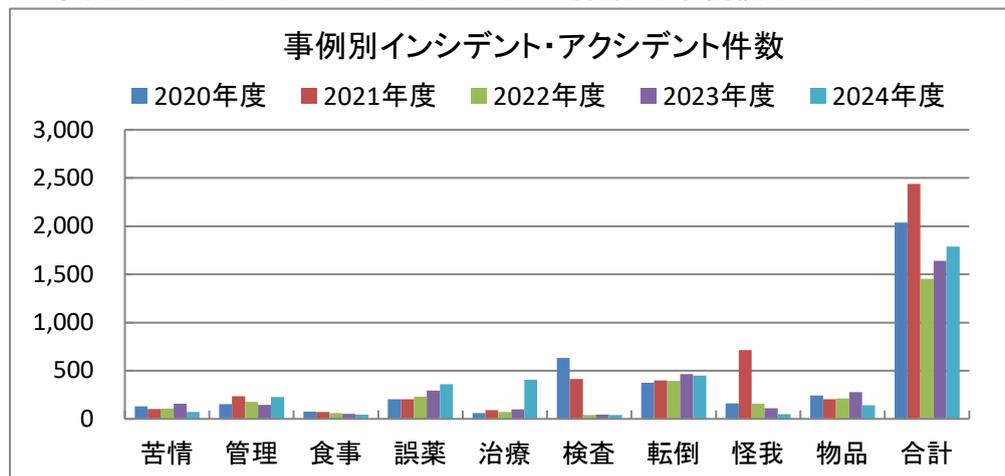
○インシデント・アクシデント件数



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
インシデント・アクシデント件数	2,037	2,438	1,453	1,641	1,790

当院では医療の現場で起こっている「ヒヤリ」としたこと「ハッ」としたことを報告し、危険要因の分析を行い、安全な環境を提供できるように活動しています。

○事例別インシデント・アクシデント件数（年度積み上げ）

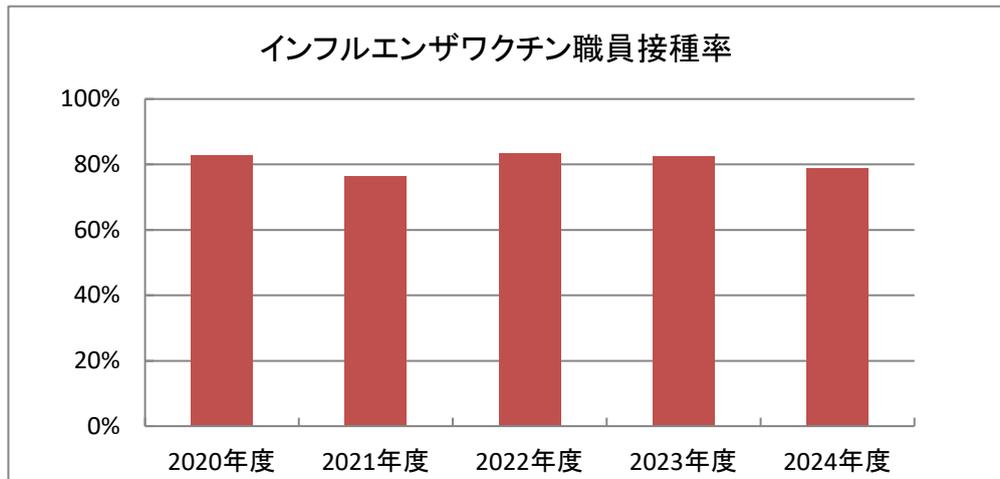


	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
苦情	131	101	106	157	72
管理	152	236	175	145	226
食事	75	71	62	52	43
誤薬	204	205	232	293	361
治療	62	91	72	99	407
検査	632	416	41	43	42
転倒	377	398	394	465	451
怪我	160	716	158	110	47
物品	244	204	213	277	141
合計	2,037	2,438	1,453	1,641	1,790

毎年転倒転落が多く発生しています。患者様の活動量の変化、環境の変化や物を拾おうとした時等々転倒の要因は様々です。転倒の予防、転倒後大きな怪我等に繋がらないよう日々職員は取り組みを行っております。
治療項目が大幅に上昇していますが、経鼻チューブ自己抜去の報告件数が上昇したためです。
怪我項目が減少していますが、褥瘡発生の報告を不要としたためです。

患者さん、ご家族向け

○インフルエンザ接種率



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
インフルエンザワクチン職員接種率	83%	76%	83%	82%	79%

インフルエンザの持込を最小限にするため、特別な事情の無い限り職員にワクチン接種を推奨しています。